

令和3年1月19日

令和3年1月物価モニター調査結果（速報）

1. 調査の目的

原油価格や為替レートなどの動向が生活関連物資等の価格に及ぼす影響、物価動向についての意識等を正確・迅速に把握し、消費者等へタイムリーな情報提供を行う。

2. 調査の内容

全国47都道府県の物価モニター2,000人が、調査対象である25品目の価格の見取調査を行うことにより、生活関連物資等の価格（特売品等の販売価格も含む。）の動向を把握する。また、物価モニターに対し、物価動向についての意識等を調査し、その動向を把握する。

3. 調査結果の概要

【価格調査結果】

- ① 価格が前月比で上昇した品目数が、下落した品目数を上回った。
「上昇した品目数－下落した品目数」は+15となった。
- ② 価格上昇幅が前月比1%以上の品目はカップ麺（+1.0%）、豚肉（ロース）（+1.2%）、茶飲料（+1.0%）、ポテトチップス（+1.0%）、シャンプー（+1.5%）。
- ③ 価格下落幅が前月比1%以上の品目はなし。

【意識調査結果】

- ① どのような日用品や食料を、家庭内で日常的に買い置きしているか聞いたところ、「トイレットペーパー、ティッシュ（ウェットティッシュ含む）」と回答したモニターの割合が58.0%と最も高く、「主食にできる食料（米、乾麺など）」が54.4%、「長期保存が効く食料や飲料（缶詰・2Lの水のペットボトルなど）」が52.2%と続いた。
- ② 日用品や食料などが品薄の状態を見たとき、状況を把握するために確認する主な情報源を聞いたところ、「テレビ」と回答したモニターの割合が69.5%と最も高く、「インターネット上の各種サイト」が58.0%、「新聞・雑誌」が38.9%と続いた。
- ③ 日用品や食料などが品薄の状態を見たとき、どのような行動を取るか聞いたところ、「数店舗、店を探し回る」と回答したモニターの割合が65.1%と最も高く、「別の何か代わりになりそうなものをとにかく買う」が44.9%、「複数のインターネットショッピングサイトで購入予約や在庫確認を行う」が33.3%と続いた。
- ④ 日用品や食料などについて、現時点での考えに近いものを聞いたところ、「ルールを守らない人には、罰が必要だと思う」と回答したモニターの割合が33.9%と最も高く、「品薄情報など、不確かな情報と思っても、とにかく行動する」が23.9%、「品薄の商品なら高く売られていても仕方ないと思う」が17.3%と続いた。

4. 次回公表予定

2月物価モニター調査結果は2月17日（水）に公表予定。

※1月物価モニター調査は、1月7日（木）～11日（月）に実施。

※速報取りまとめ後に集計した分については、翌月の速報における前月値に反映させる。

※過去の調査結果及び調査結果のバックデータについては、以下のURLを参照。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/price_measures/index.html#price_monitor

【意識調査結果】

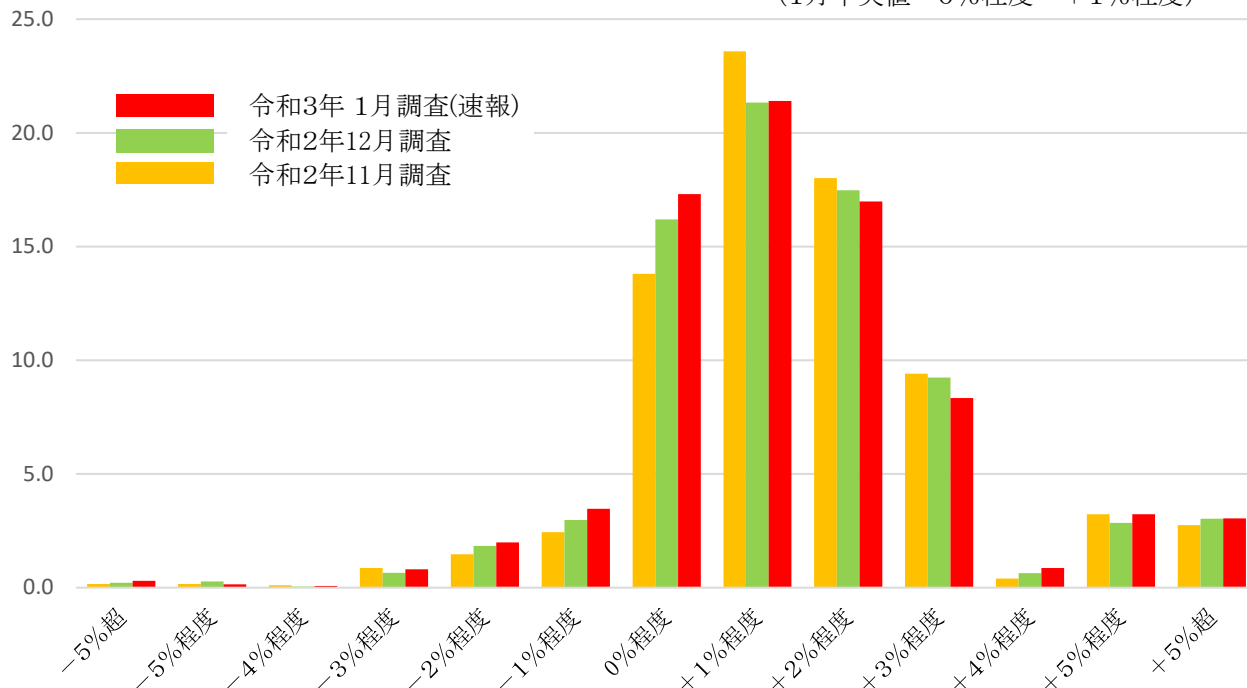
＜１年後の物価の見通しと期待物価上昇率＞

【１年後の物価の見通し(現在の水準と比較した変化率)】

(回答者の割合)

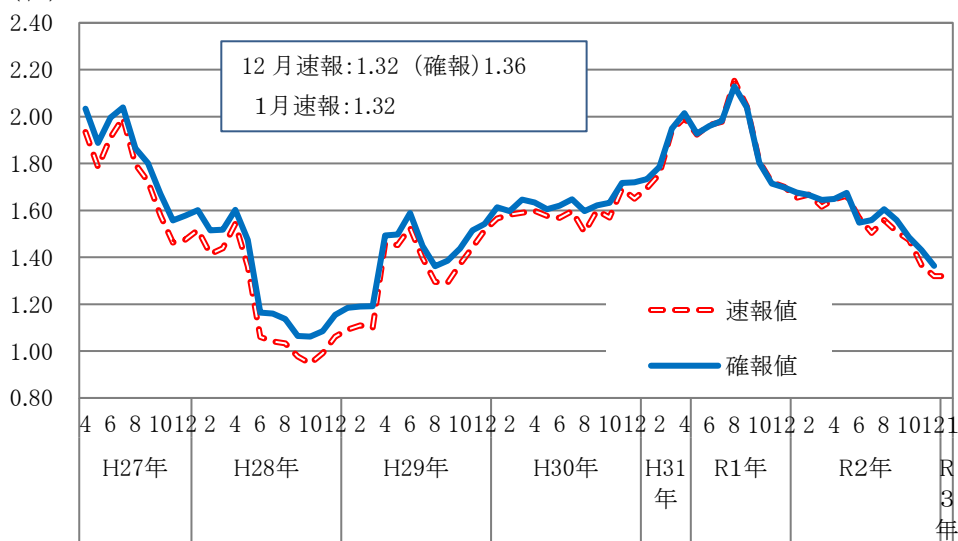
(%)

(1月中央値＝0%程度～＋1%程度)



【物価モニターが予想する期待物価上昇率】

(%)



(備考)

1. 「－5%超」、「－5%程度」は－5%、「－4%程度」は－4%、「－3%程度」は－3%、「－2%程度」は－2%、「－1%程度」は－1%、「＋1%程度」は＋1%、「＋2%程度」は＋2%、「＋3%程度」は＋3%、「＋4%程度」は＋4%、「＋5%程度」、「＋5%超」は＋5%のインフレ率をそれぞれ予想しているとして計算。

(調査年月)

本件に関する問合せ先

消費者庁 参事官(調査・物価等担当)

担当: 栗田、笠原

TEL: 03-3507-9179

FAX: 03-3507-9286

調査結果データ

1. 価格調査結果

(1) 食料品

品目	食パン	生中華麺	カップ麺	ソーセージ	豚肉 (ロース)	豆腐	牛乳	ヨーグルト	卵
前月比(%)	0.6	0.0	1.0	0.4	1.2	0.1	0.2	0.1	-0.6
指数	125.3	117.9	141.6	115.9	131.9	112.2	114.6	121.7	103.3
前年比(%)	3.6	1.8	4.3	1.7	5.7	1.9	1.3	2.3	-1.1

品目	茶飲料	果実飲料	ポテト チップス	アイス クリーム	食用油	からあげ 弁当	冷凍 コロッケ	おにぎり	※ビール
前月比(%)	1.0	0.3	1.0	0.3	0.9	0.1	-0.2	-0.1	0.6
指数	106.6	121.8	131.7	124.5	133.7	104.8	87.8	114.9	103.0
前年比(%)	1.1	1.7	4.1	3.4	4.2	0.5	-1.1	1.7	-3.7

(2) 日用・家事用品

品目	※洗濯用 洗剤	ティッシュ ペーパー	紙おむつ	シャンプー
前月比(%)	-0.4	0.1	-0.2	1.5
指数	121.8	129.5	105.1	114.1
前年比(%)	4.6	1.6	0.4	2.3

(3) サービス等

品目	※洗濯代	理髪代又 はカット代	中華そば
前月比(%)	0.2	0.1	0.0
指数	104.3	104.1	105.3
前年比(%)	0.1	0.9	0.8

(備考)

指数は、平成 27 年 4 月の税抜平均価格を 100 として、調査時点の税抜平均価格を指数化したもの。

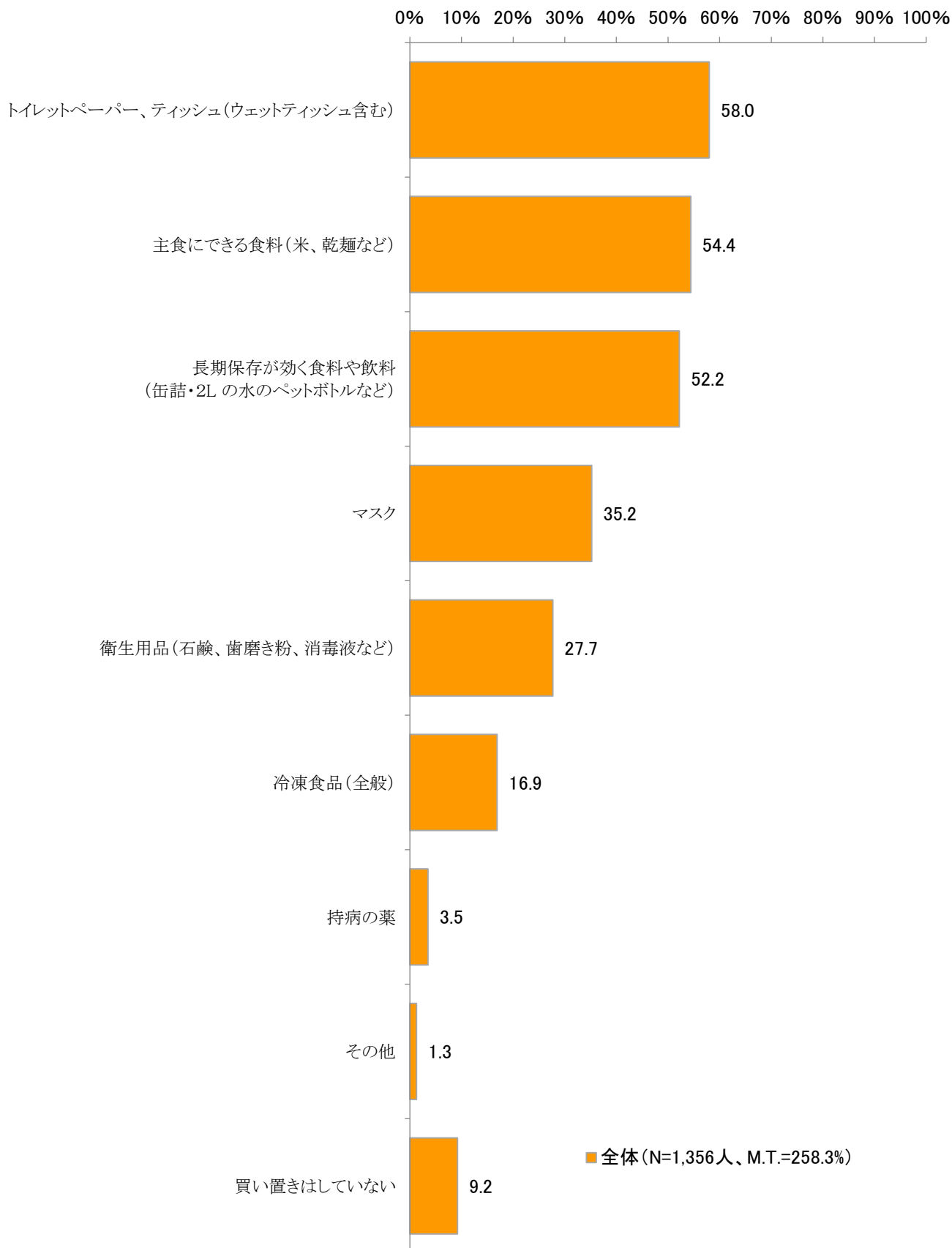
※ビールは、平成 28 年 4 月の税抜平均価格を 100 として指数化。洗濯用洗剤と洗濯代は平成 29 年 4 月の税抜平均価格を 100 として指数化。

※令和元年 10 月 1 日から令和 2 年 6 月 30 日まで消費税率引上げに合わせて各事業者が実施していたキャッシュレス決済に対するポイント還元制度は考慮しない。

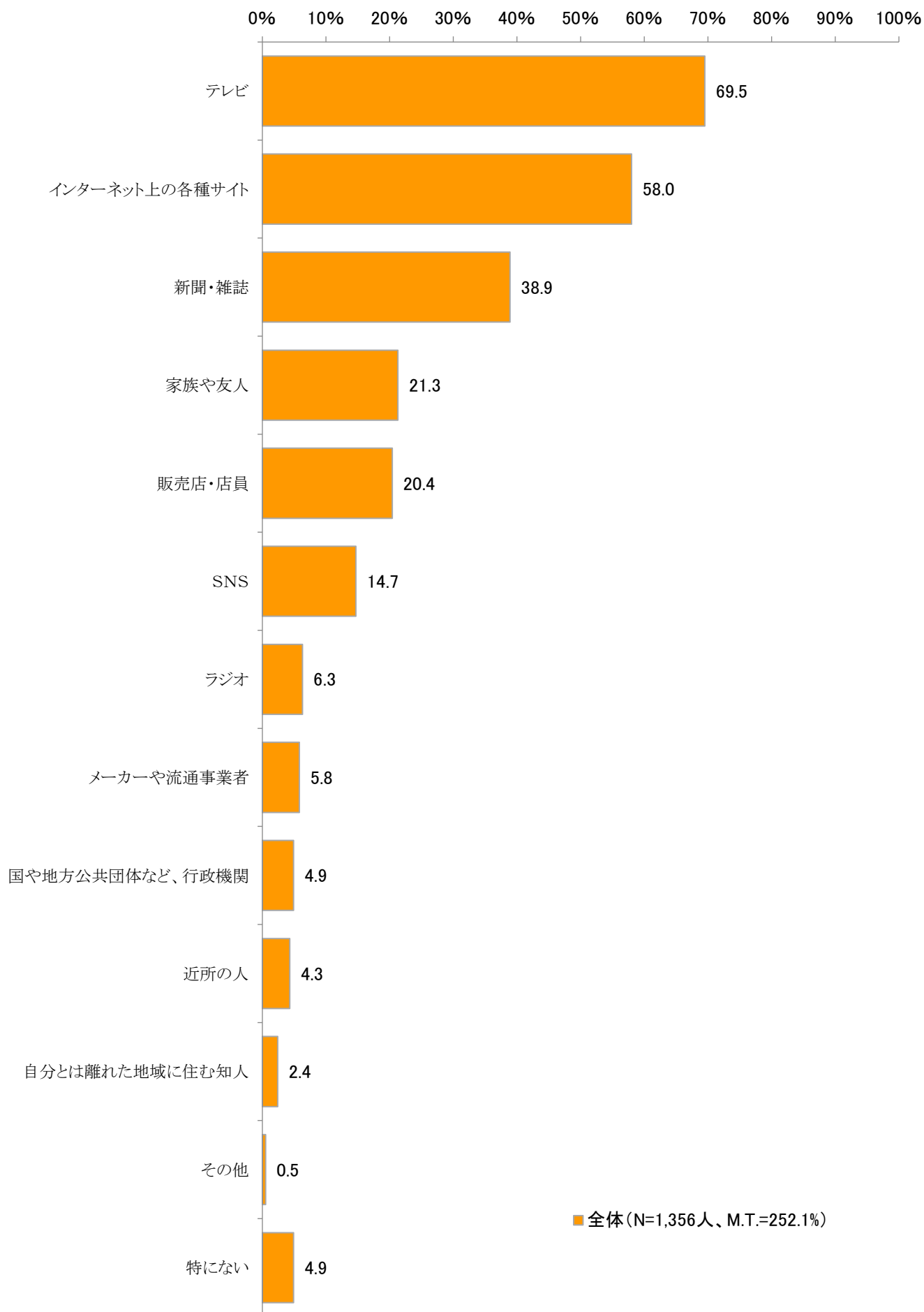
2. 意識調査結果

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関し、日用品や食料などの家庭内での日常的な買い置きや、店舗やインターネットショッピングサイト等における品薄の状態などについて、現時点（令和3年1月）でのあなたの考え方をお伺いします。

問1 あなたは、どのような日用品や食料を、家庭内で日常的に買い置きしていますか。
当てはまるものを3つまで選んでください。

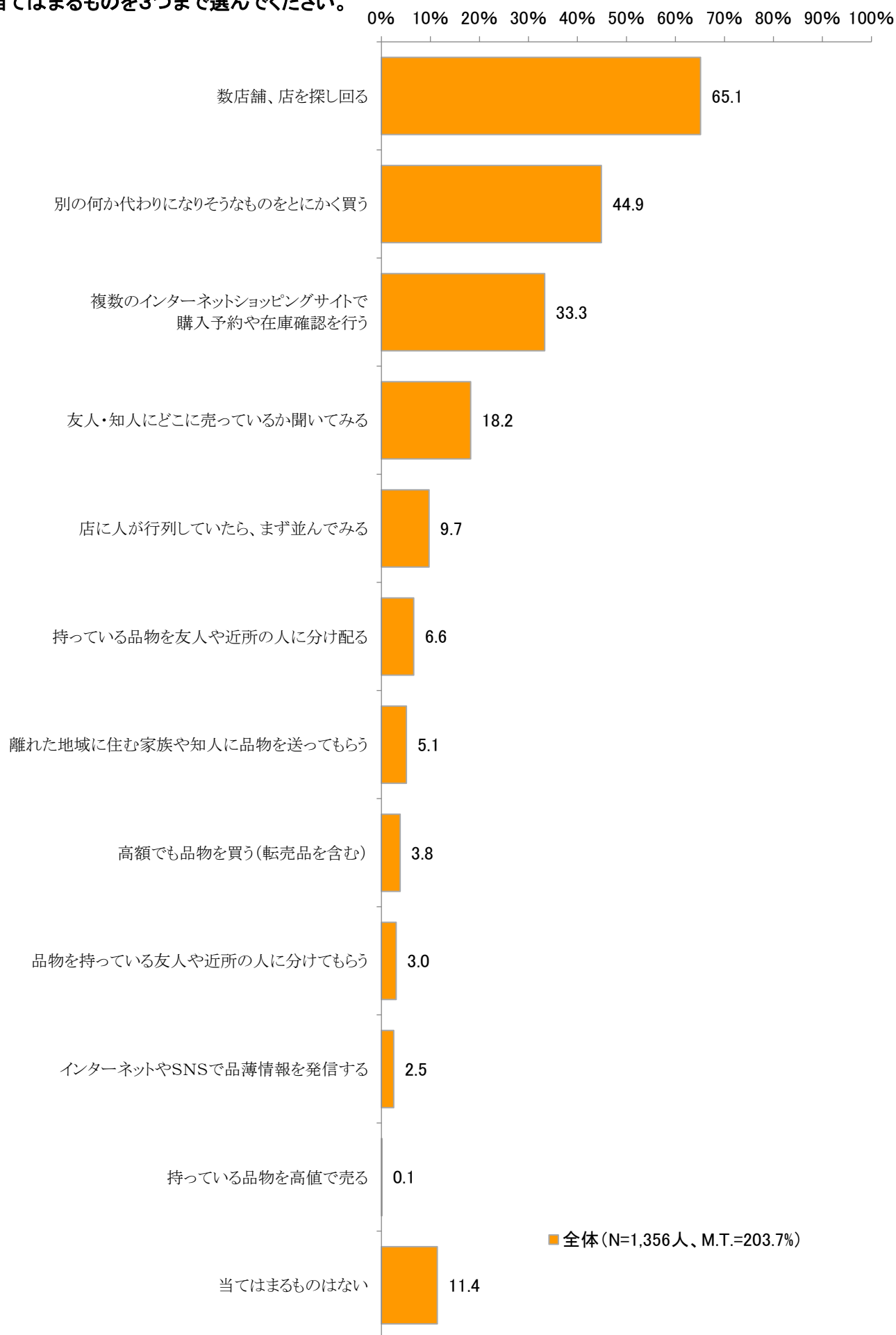


問2 日用品や食料などが品薄の状態を見たとき、あなたが状況を把握するために確認する主な情報源として、当てはまるものを上位3つまで選んでください。

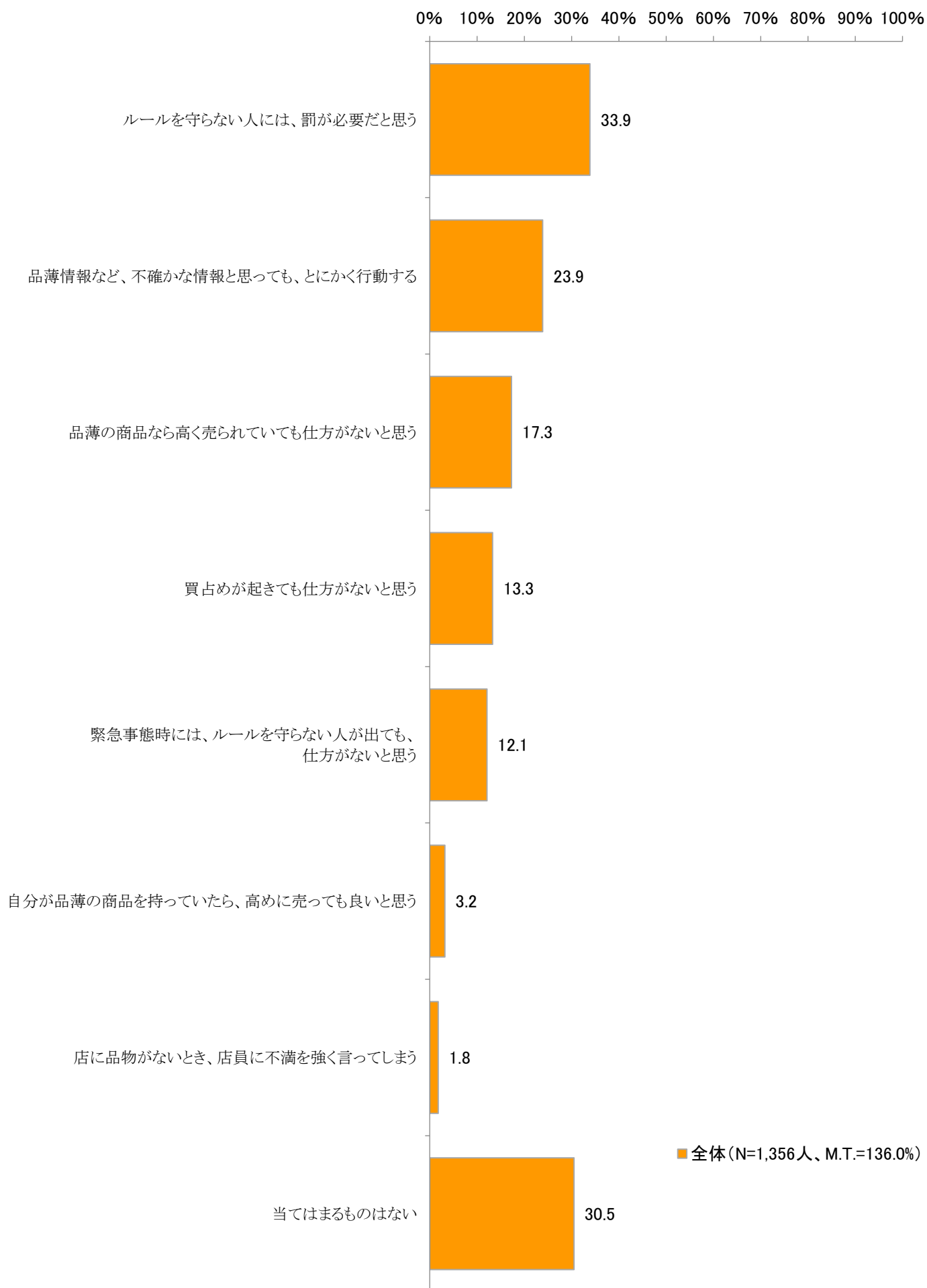


問3 日用品や食料などが品薄の状態を見たとき、あなたはどのような行動を取ると思いますか。

当てはまるものを3つまで選んでください。

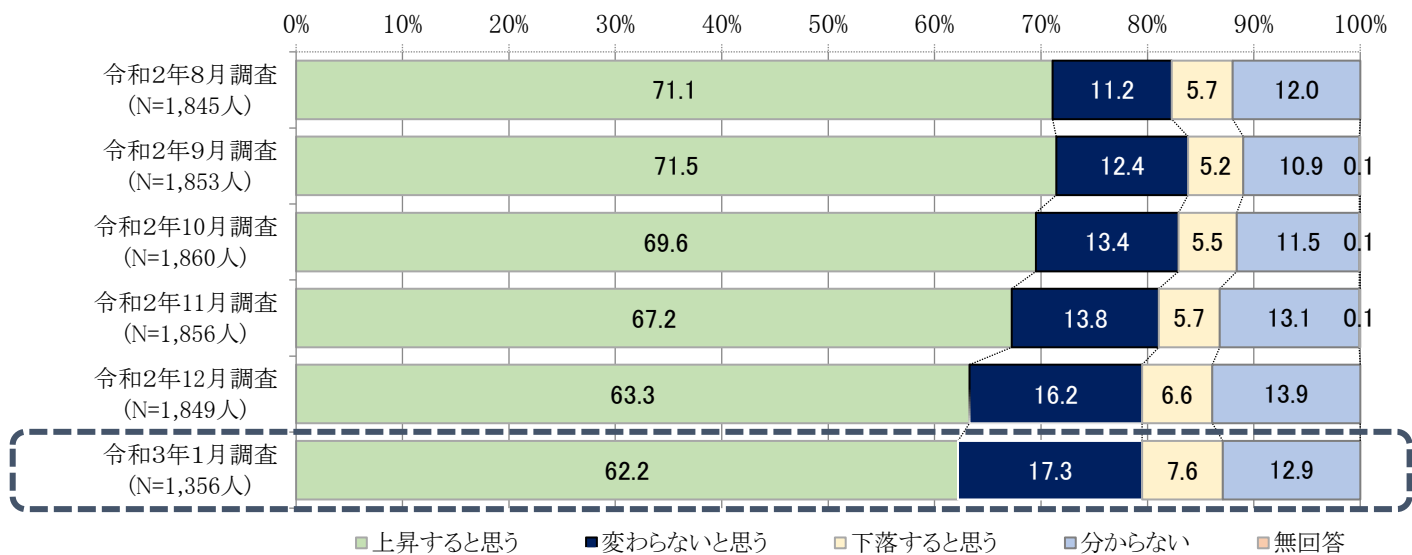


問4 日用品や食料などについて、現時点で、あなたの考えに近いものを以下の中から全て選んでください。

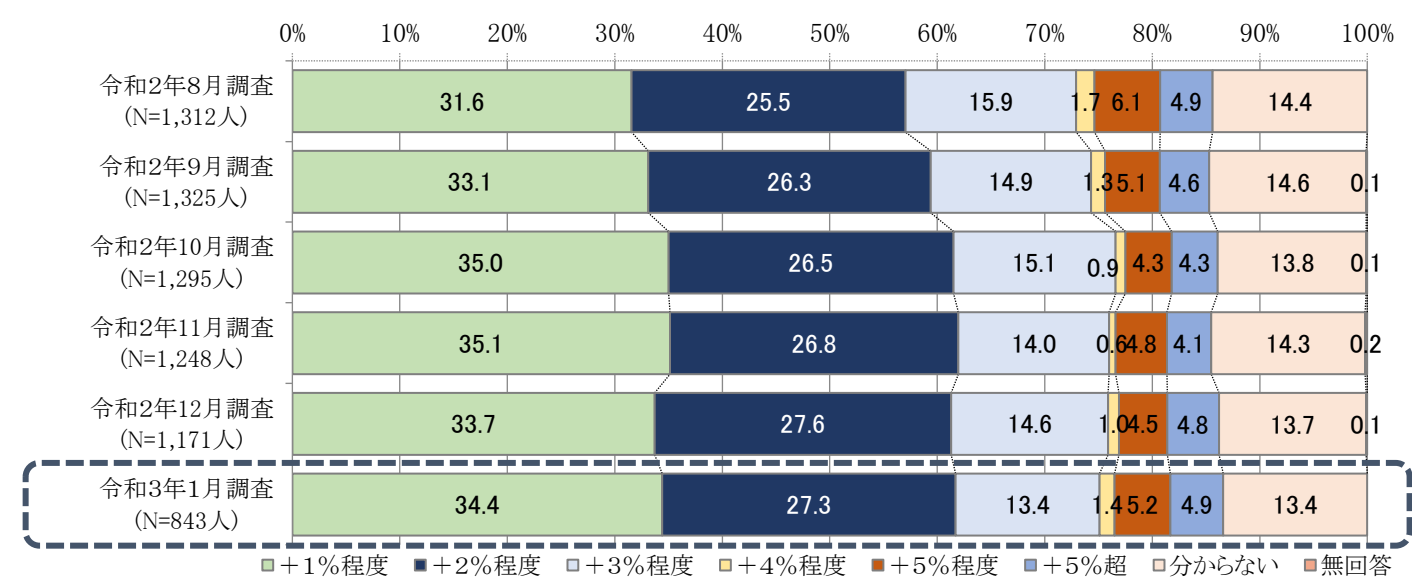


問5 あなたが普段購入している生活関連物資全般の価格は、現時点と比べて1年後には、上昇すると思いますか、下落すると思いますか。1つ選んでください。

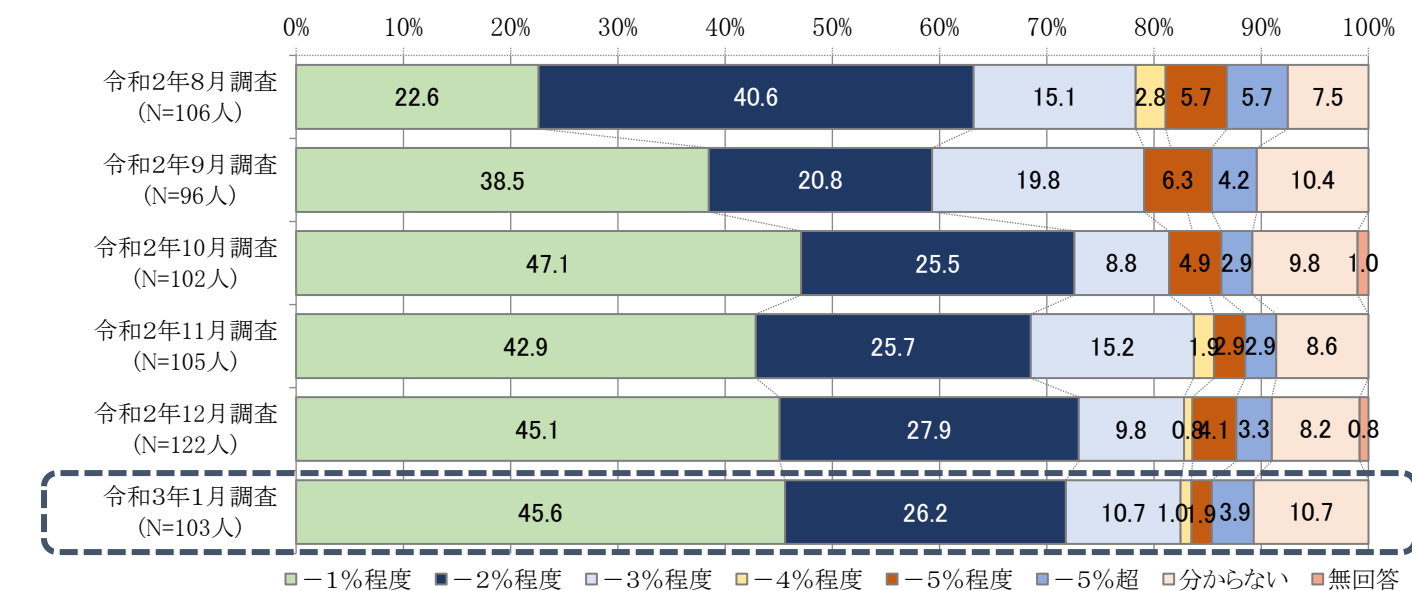
(参考)消費者物価指数は、前年同月比▲0.4%となっています(令和2年10月時点)。



問6 (問5で「上昇すると思う」を選んだ方がお答えください。) どのくらい上昇すると思いますか。

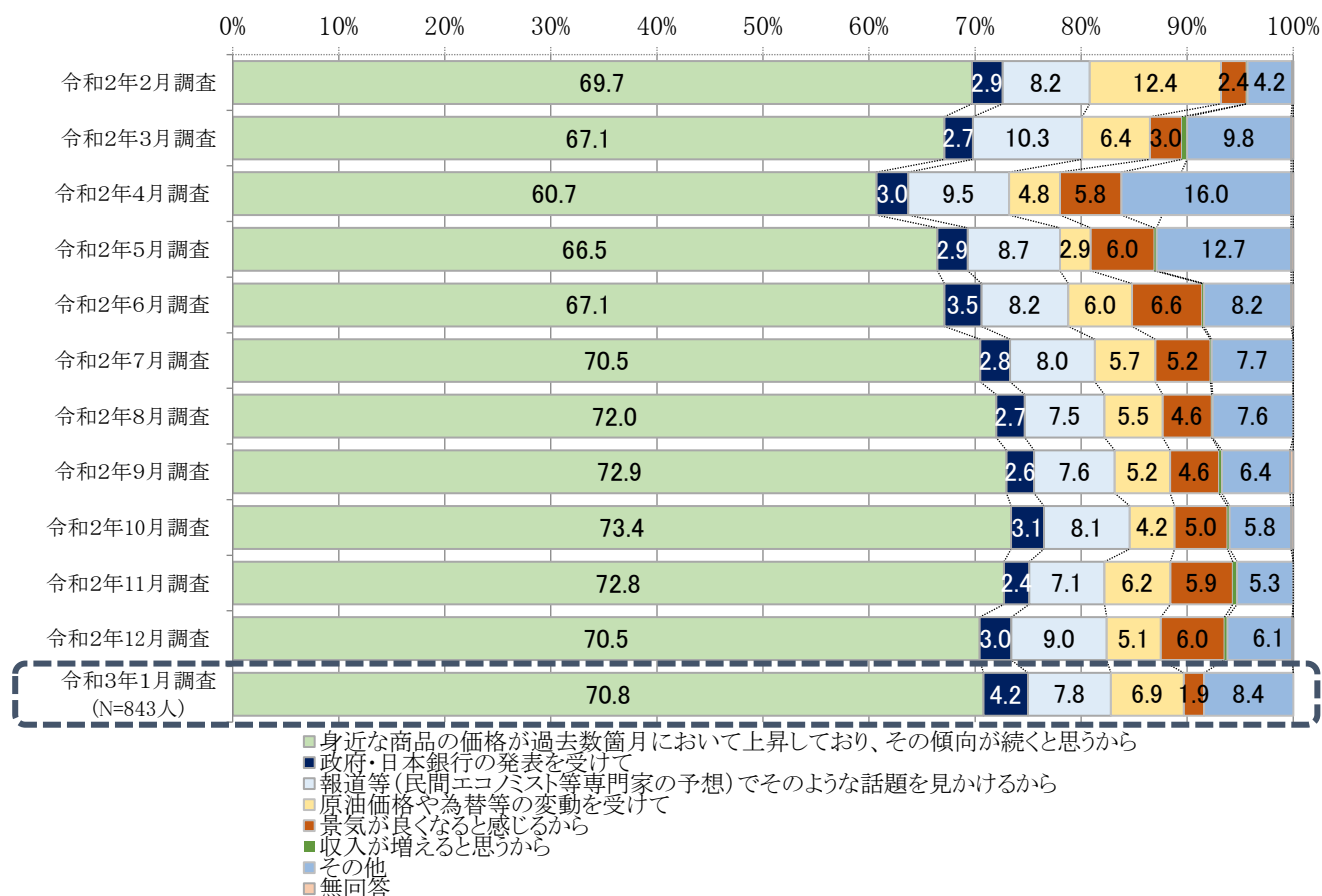


問7 (問5で「下落すると思う」を選んだ方がお答えください。) どのくらい下落すると思いますか。



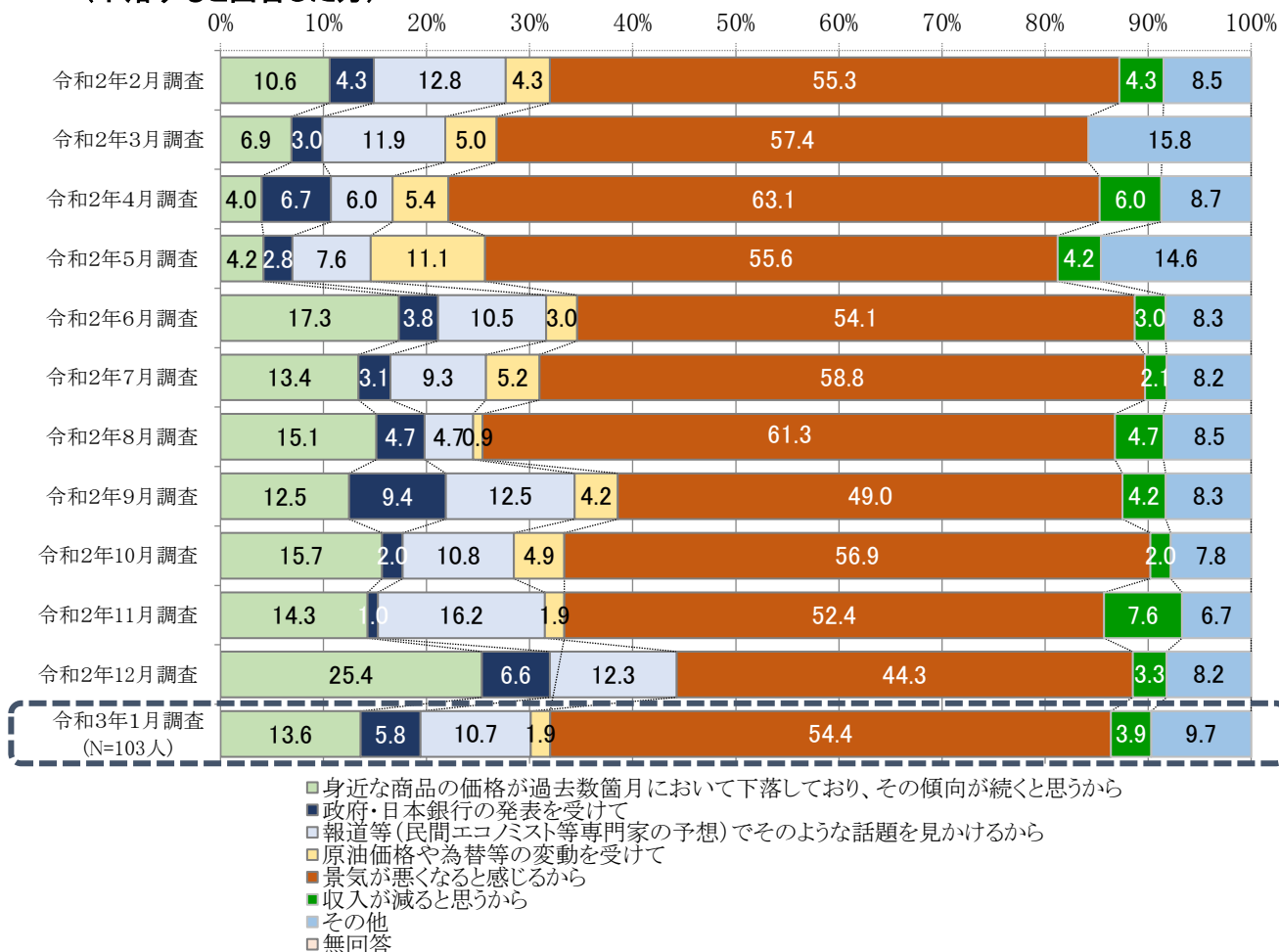
問8 問5で回答した理由は、以下のいずれでしょうか。1つ選んでください。

(上昇すると回答した方)

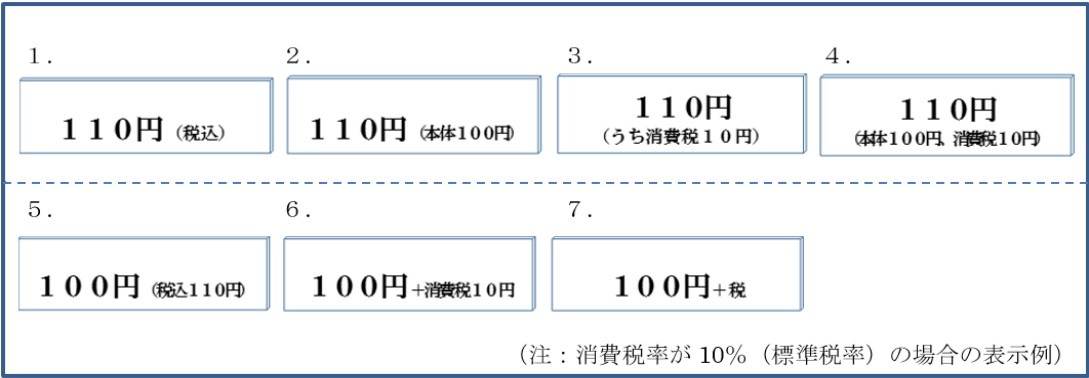


※「収入が増えると思うから」及び「無回答」の割合は、いずれも1%未満であるため、データラベルは非表示

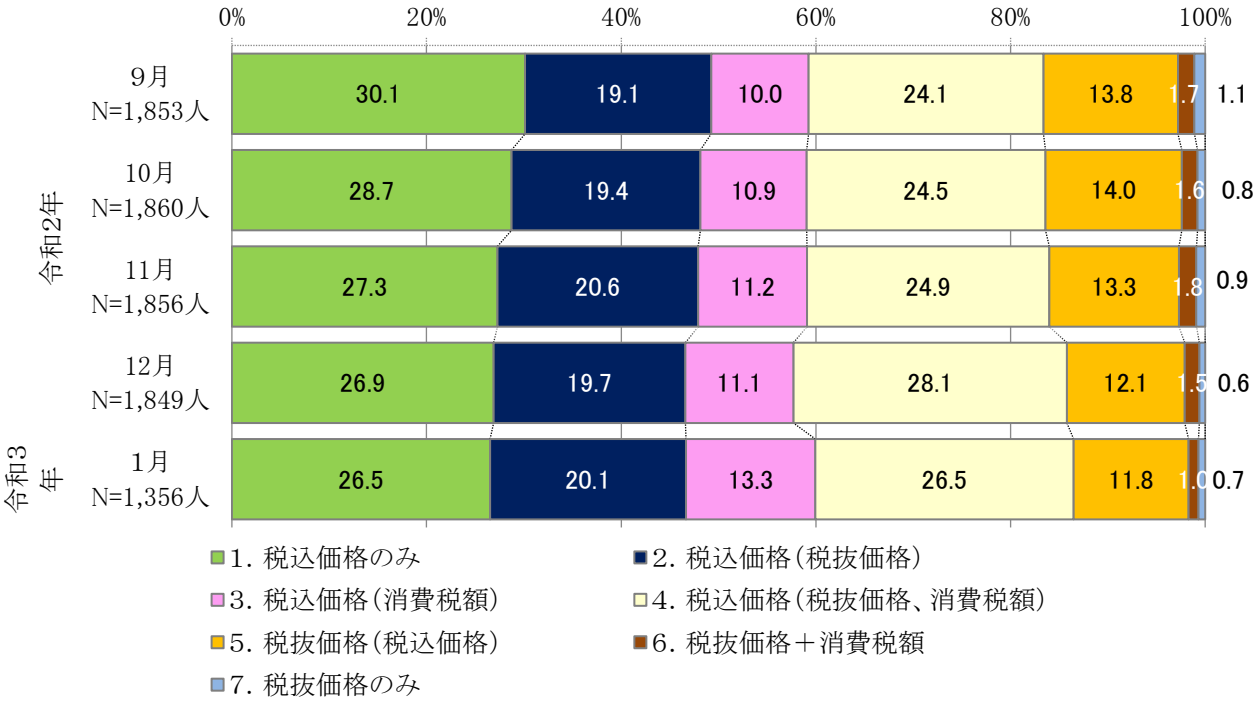
(下落すると回答した方)



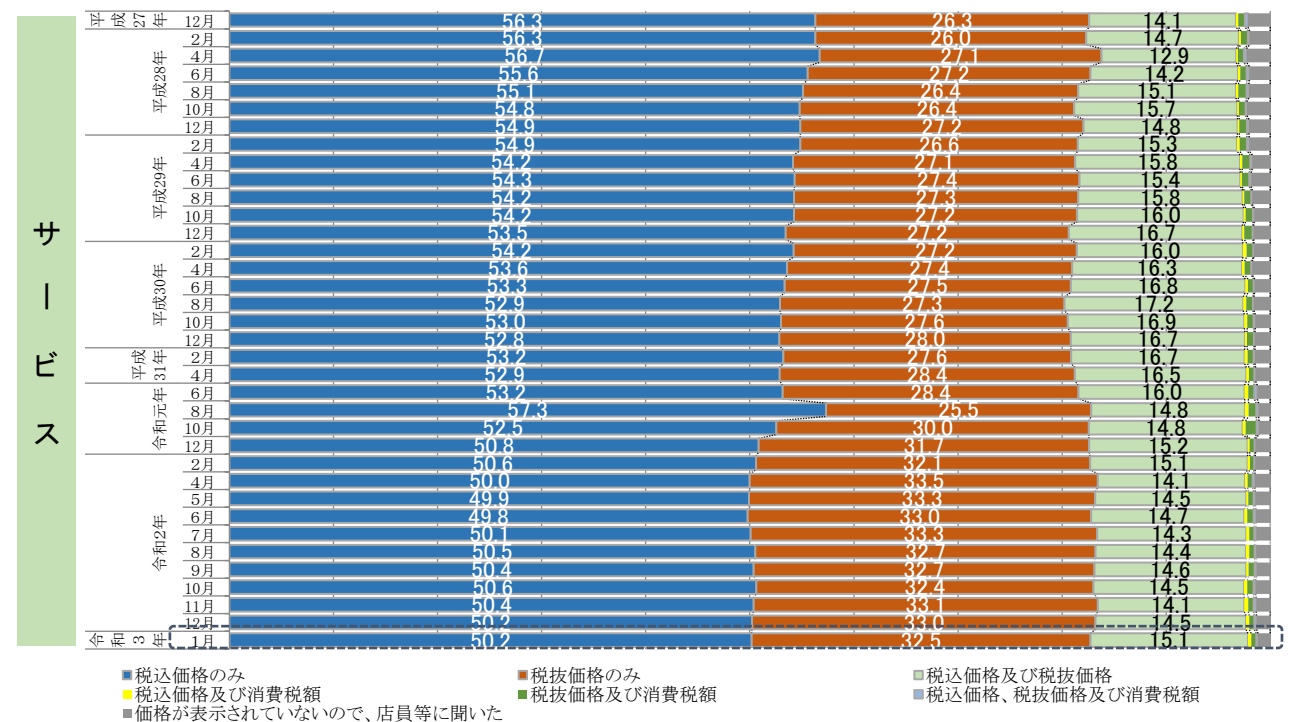
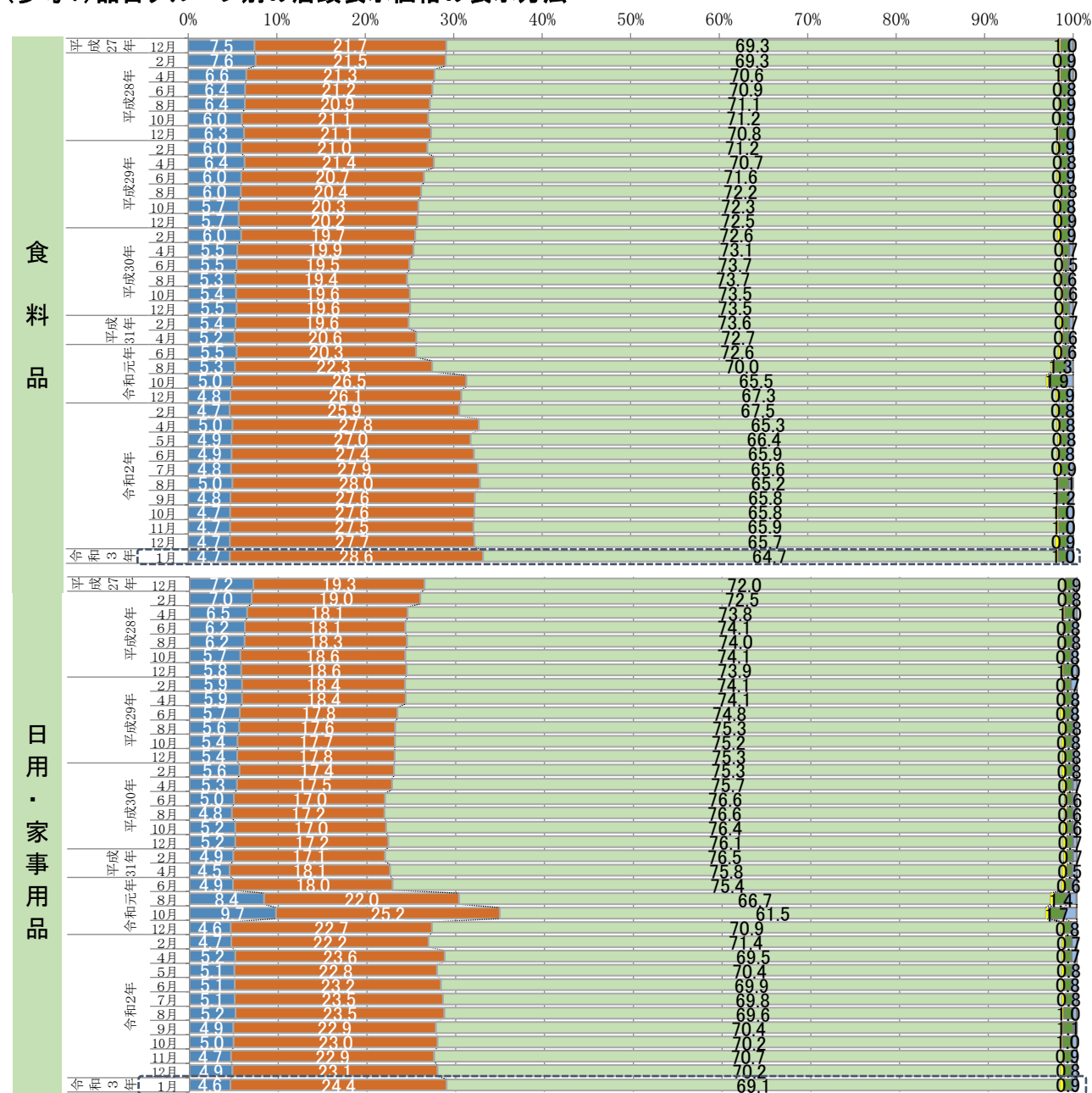
チラシ又は店舗等における価格の表示方法について伺います。
 現状、以下のような表示方法が認められているところです。



問9 あなたが最も分かりやすいと思う表示は、上記のいずれでしょうか。
 当てはまるものを1つ選んでください。



(参考1)品目グループ別の店頭表示価格の表示方法

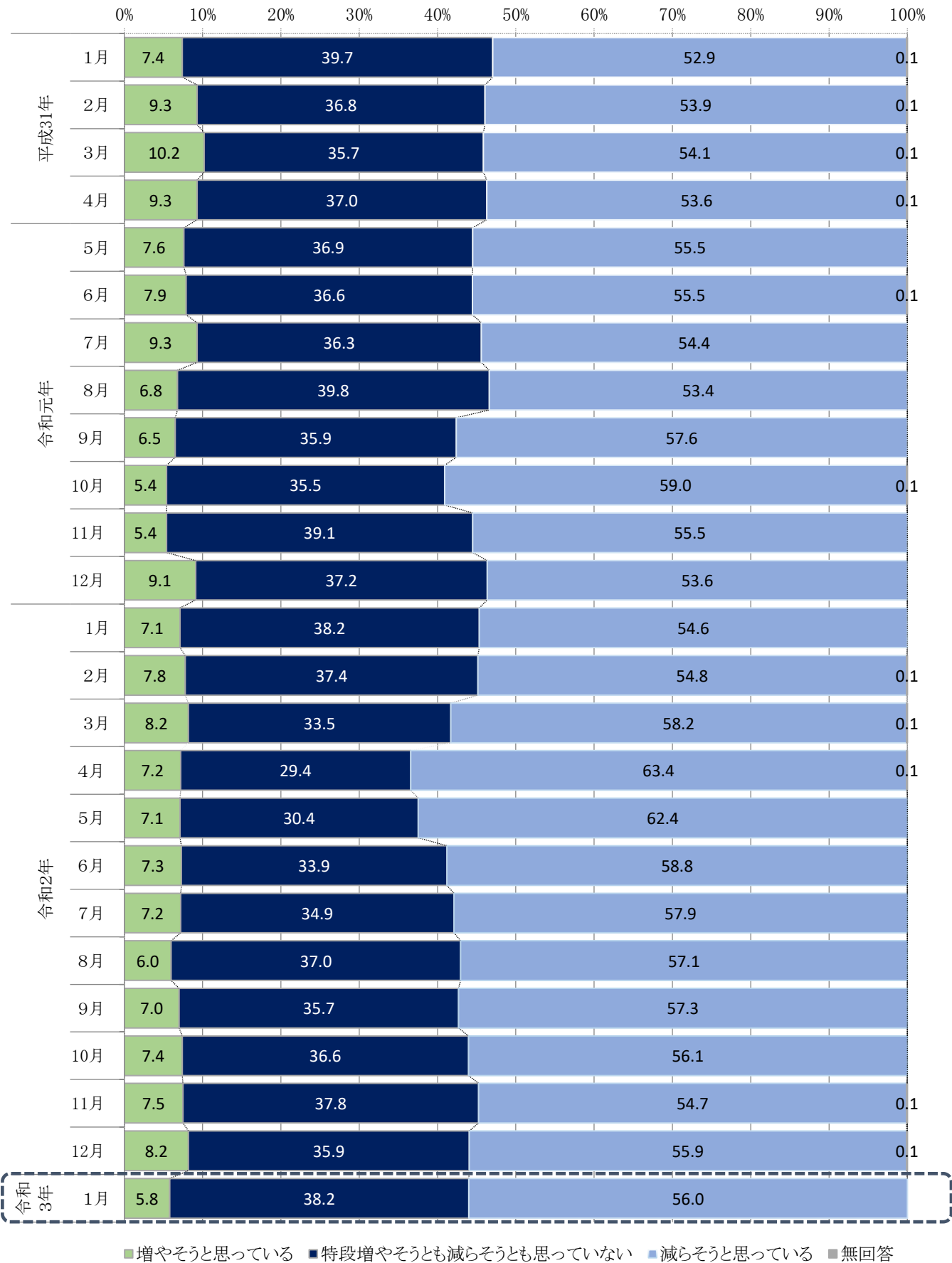


注1) 平成27年4月調査より、食料品を3品目、サービスを2品目入替え。令和元年8～11月は40品目モニター数4,000名で調査。
注2) データラベルを表示しているのは「税込価格のみ」、「税込価格のみ」、「税込価格及び税込価格」、「税込価格及び消費税額」。
注3) 令和元年8～11月調査は、「雑貨・衣料等」10品目、「耐久消費財」15品目を「日用・家事用品」として集計。サービスに4品目を追加。

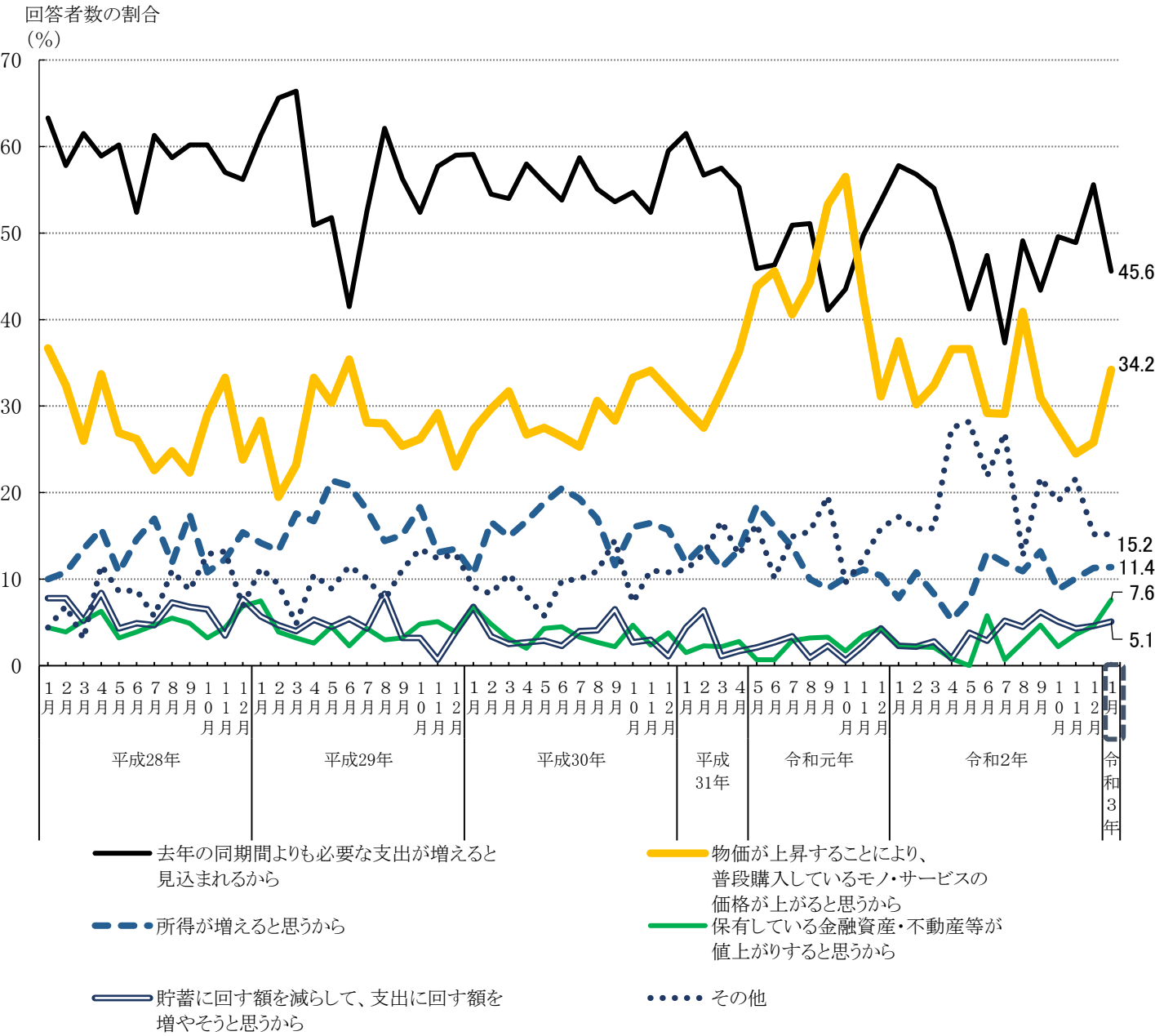
(参考2)消費についての意識

※以下、令和元年8～11月調査は4,000名のモニターを対象とした調査結果を集計

問1 あなたの世帯の消費への支出額を、今後3か月の間について、去年の同期間と比べて、どのようにしていこうと思っていますか。1つ選んでください。



問2（問1で「増やそうと思っている」を選んだ方がお答えください。）
その理由は以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。



(注) 各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略: 回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成27年度	回答者数(人)	88	82	101	113	98	99	100	105	119	90	102	96
	M.T.(%)	140.9	130.5	126.7	125.7	134.7	125.3	122.0	108.6	121.0	126.7	119.6	114.6
平成28年度	回答者数(人)	95	93	103	106	109	103	93	114	130	106	128	125
	M.T.(%)	134.7	114.0	110.7	116.0	119.2	120.4	122.6	123.7	116.9	128.3	116.4	119.2
平成29年度	回答者数(人)	114	112	130	139	132	126	126	137	178	132	145	161
	M.T.(%)	120.2	122.4	116.9	118.7	124.2	115.1	118.3	118.2	116.3	119.7	118.6	118.0
平成30年度	回答者数(人)	150	138	132	150	147	138	150	164	185	135	171	186
	M.T.(%)	114.7	115.2	118.9	120.7	121.1	116.7	119.3	119.5	122.7	120.0	119.9	120.4
令和元年度	回答者数(人)	179	146	149	175	219	214	177	171	164	128	139	145
	M.T.(%)	122.3	127.4	122.1	126.3	125.1	128.5	123.2	121.6	120.1	125.0	119.4	117.2
令和2年度	回答者数(人)	131	131	137	134	110	129	137	139	151	79		
	M.T.(%)	120.6	117.6	120.4	111.9	122.7	120.2	112.4	113.7	117.2	119.0		

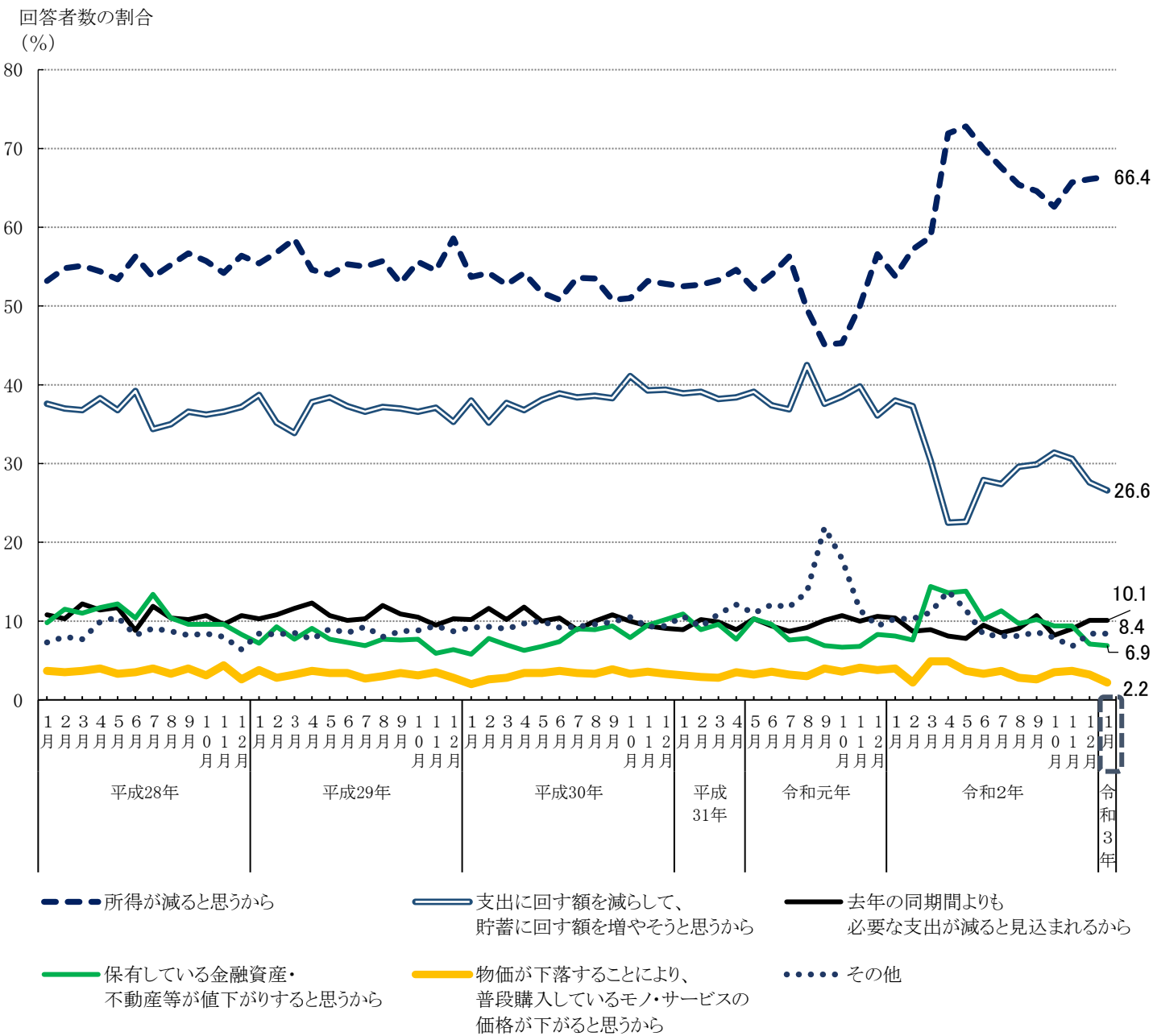
消費を増やそうと思っているのは、以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。

Figure 1: Monthly Index of Consumer Prices (January 2016 to January 2023). The graph displays the index for five categories: Food (黒実線), Daily necessities (オレンジ実線), Durable goods (濃青点線), Services (緑実線), and Others (濃青点線). The Y-axis represents the index value, ranging from 0 to 80. The X-axis shows the time period from January 2016 to January 2023, divided into Heisei 28, Heisei 29, Heisei 30, Heisei 31, Reiwa 1, and Reiwa 2. The graph illustrates significant fluctuations in the index over time, particularly for the Food and Daily necessities categories, which show sharp increases in early 2022 and early 2023, respectively.

Category	Jan 2016	Jan 2017	Jan 2018	Jan 2019	Jan 2020	Jan 2021	Jan 2022	Jan 2023
Food (黒実線)	63.5	50.0	60.0	55.0	62.0	63.0	74.0	59.5
Daily necessities (オレンジ実線)	28.0	32.0	30.0	35.0	38.0	42.0	51.9	51.9
Durable goods (濃青点線)	26.0	24.0	22.0	20.0	22.0	24.0	38.0	38.0
Services (緑実線)	22.0	24.0	26.0	28.0	30.0	32.0	38.0	38.0
Others (濃青点線)	22.0	20.0	18.0	16.0	18.0	20.0	19.0	16.5

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成27年度	回答者数(人)	88	82	101	113	98	99	100	105	119	90	102	90
	M.T.(%)	169.3	163.4	150.5	161.9	177.6	154.5	161.0	132.4	157.1	162.2	157.8	157.3
平成28年度	回答者数(人)	95	93	103	106	109	103	93	114	130	106	128	123
	M.T.(%)	162.2	153.9	150.5	148.1	156.9	166.2	148.4	159.6	159.2	161.3	164.0	166.4
平成29年度	回答者数(人)	114	112	130	139	132	126	126	137	178	132	145	161
	M.T.(%)	175.5	177.8	180.0	159.0	169.7	163.5	160.3	171.5	164.0	176.5	166.9	164.0
平成30年度	回答者数(人)	150	138	132	150	147	138	150	164	185	135	171	180
	M.T.(%)	163.3	162.3	175.8	170.0	166.0	168.8	170.0	174.4	177.3	163.0	176.6	175.8
令和元年度	回答者数(人)	179	146	149	175	219	214	177	171	164	128	139	145
	M.T.(%)	177.1	184.9	191.3	184.0	179.0	198.6	187.0	183.0	181.1	185.2	177.7	193.8
令和2年度	回答者数(人)	131	131	137	134	110	129	137	139	151	79		
	M.T.(%)	168.7	187.8	173.7	179.9	178.2	172.1	168.6	168.3	172.8	184.8		

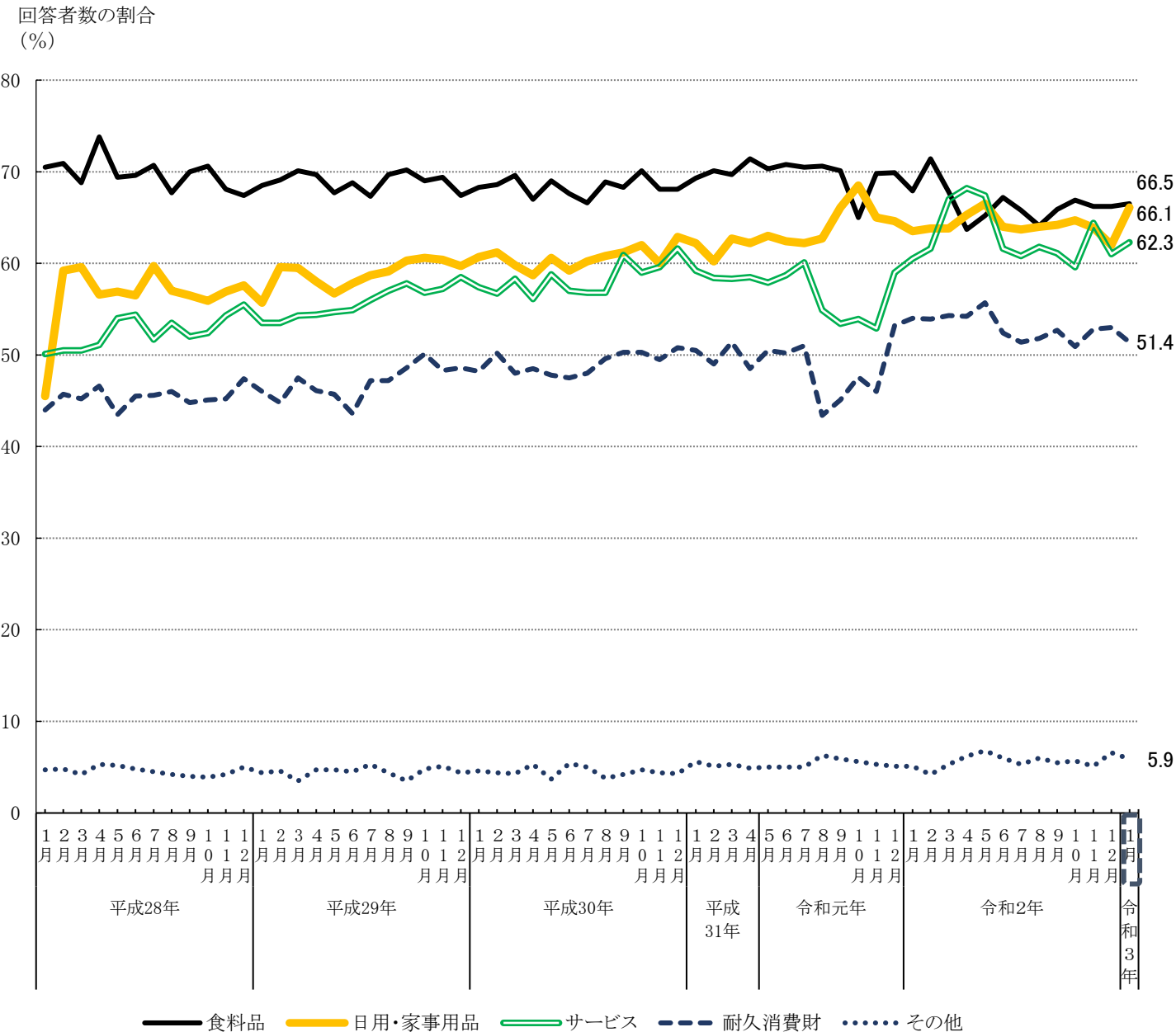
問4（問1で「減らそうと思っている」を選んだ方がお答えください。）
その理由は以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。



(注) 各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成27年度	回答者数(人)	933	909	952	906	868	913	877	944	949	992	991	1,008
	M.T.(%)	127.1	124.4	123.2	122.8	122.2	124.5	120.5	115.5	122.9	122.4	125.1	126.5
平成28年度	回答者数(人)	957	978	1,032	994	944	966	942	972	955	978	981	964
	M.T.(%)	129.7	127.9	126.4	126.5	123.0	125.3	123.7	122.4	121.6	123.8	123.0	123.4
平成29年度	回答者数(人)	1,006	1,012	997	983	969	979	964	983	952	994	983	962
	M.T.(%)	125.2	123.3	122.0	121.1	123.6	120.4	122.5	120.2	122.4	119.0	120.8	119.4
平成30年度	回答者数(人)	972	1,010	985	975	973	953	939	965	939	970	995	990
	M.T.(%)	122.2	120.0	120.3	122.7	123.9	123.1	124.1	124.4	124.2	124.9	123.2	124.7
令和元年度	回答者数(人)	1,031	1,059	1,047	1,023	1,726	1,893	1,921	1,767	963	982	981	1,023
	M.T.(%)	125.2	126.2	126.2	124.5	125.7	125.5	122.7	122.4	124.9	124.5	123.3	128.5
令和2年度	回答者数(人)	1,158	1,147	1,104	1,071	1,053	1,062	1,043	1,015	1,033	759		
	M.T.(%)	134.9	132.1	129.3	126.7	124.8	126.6	123.0	125.3	122.5	120.7		

問5（問1で「減らそうと思っている」を選んだ方がお答えください。）
消費を減らそうと思っているのは、以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。



(注) 各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成27年度	回答者数(人)	933	909	952	906	868	913	877	944	949	992	991	1,008
	M.T.(%)	230.0	230.4	223.7	226.4	226.4	226.5	221.9	195.3	122.9	214.7	231.2	228.4
平成28年度	回答者数(人)	957	978	1,032	994	944	966	942	972	955	978	981	964
	M.T.(%)	233.4	229.0	230.8	232.2	228.4	227.3	227.9	228.7	233.4	228.5	231.6	235.0
平成29年度	回答者数(人)	1,006	1,012	997	983	969	979	964	983	952	994	983	962
	M.T.(%)	233.3	229.9	229.9	235.1	237.5	240.6	241.7	240.7	239.1	239.2	241.3	240.0
平成30年度	回答者数(人)	972	1,010	985	975	973	953	939	965	939	970	995	990
	M.T.(%)	236.1	240.0	237.1	236.9	240.3	245.0	246.4	241.7	247.9	246.9	243.1	247.7
令和元年度	回答者数(人)	1,031	1,059	1,047	1,023	1,726	1,893	1,921	1,767	963	982	981	1,023
	M.T.(%)	246.1	246.9	247.2	249.1	238.1	240.7	240.6	239.2	251.8	251.2	254.8	258.2
令和2年度	回答者数(人)	1,158	1,147	1,104	1,071	1,053	1,062	1,043	1,015	1,033	759		
	M.T.(%)	257.8	261.6	251.6	247.5	247.9	249.5	248.1	252.7	249.4	252.3		

3. 今回調査(速報)の回答者の属性

今回調査の回答者数:1,356人

①性別

男性	460人 (33.9%)
女性	896人 (66.1%)

②年齢

20～29歳	17人 (1.3%)
30～39歳	113人 (8.3%)
40～49歳	368人 (27.1%)
50～59歳	452人 (33.3%)
60～69歳	285人 (21.0%)
70歳以上	121人 (8.9%)

③職業

正社員	380人 (28.0%)
正社員以外の被雇用者	380人 (28.0%)
会社、団体などの役員	11人 (0.8%)
自営業	50人 (3.7%)
専業の主婦・主夫	371人 (27.4%)
学生	5人 (0.4%)
無職	142人 (10.5%)
その他	17人 (1.3%)

④居住地方

北海道	63人 (4.6%)
東北地方	87人 (6.4%)
関東地方	454人 (33.5%)
北陸甲信越地方	77人 (5.7%)
中部地方	173人 (12.8%)
近畿地方	216人 (15.9%)
中国地方	98人 (7.2%)
四国地方	44人 (3.2%)
九州・沖縄地方	144人 (10.6%)

⑤居住形態

単身	104人 (7.7%)
二人暮らし	483人 (35.6%)
三人暮らし	385人 (28.4%)
四人暮らし	278人 (20.5%)
五人以上	106人 (7.8%)

⑥世帯年収

300万円未満	206人 (15.2%)
300～500万円	367人 (27.1%)
500～700万円	347人 (25.6%)
700～1,000万円	279人 (20.6%)
1,000万円以上	157人 (11.6%)